

## 第7回 RIEC スピントロニクス国際ワークショップ The 7th RIEC International Workshop on Spintronics

開催日：平成23年2月3日（木曜日）～4日（金曜日）（2日間）

開催場所：東北大学電気通信研究所 ナノ・スピン実験施設

2011年2月3, 4日の両日に、本学電気通信研究所が主催する標記国際ワークショップが附属ナノ・スピン実験施設において開催された[組織委員長：通研・大野英男教授、本学省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンターでの1st CSIS International Symposium on Spintronics-based VLSIs (2月3, 4日)とのジョイント開催]。参加者126名の内、国外からの参加者は21名を数えた。アメリカ、フランス、韓国、日本から18名の研究者を招待講演者として迎えた。ポスターセッションでは、ポーランド、トルコ、韓国、日本から22件の一般講演があった。ワークショップの内容は磁気トンネル接合、磁性細線の材料物性から、それらを利用したスピン注入磁化反転・磁壁移動特性、理論解析、集積回路まで、基礎物理から最新の工学応用を含む幅広い話題をカバーした。活発な議論を通して、スピントロニクス集積回路の研究開発動向・課題および将来の方向性が明らかとなり、非常に有意義なワークショップとなった。学生の参加も多数あり、学生の国際性を育むという観点からも大きな成果を得ることができた。



第7回 RIEC スピントロニクス国際ワークショップ参加者集合写真